令和 8 年度　シニアカレッジ上越同窓会グループ活動「楽足会（らくほかい）」の活動
～　斐太（ひだ）の里へ行ってみるか　～

5月 11 日（月）に、4月の番外編に続いて「斐太の遺跡群」を巡る歩行会を実施しました。
新幹線「上越妙高駅」目の前に、新潟県有形文化財に指定された「吹上（ふきあげ）遺跡」と「釜蓋（かまぶた）遺跡」の出土品展示施設「釜蓋ガイダンス」駐車場に集合、スタートした。スタート地点は、新幹線の高架や高層ホテル等が林立して現代的風景であるが、その先の昔ながらの田園風景の中を気持ちよく歩き始めた。気温が平均気温より高い天気予報であり、時間ともに気温が上昇し、途中「吹上遺跡大橋」下の日陰で一休みしながら更に歩を進めた。



【　吹上遺跡大橋の下で一休み　】



【　斐太神社参拝　】

歩行コース周辺は「吹上遺跡・釜蓋遺跡」をはじめ「観音平遺跡」等弥生時代終わり頃から古墳時代はじめ頃の集落遺跡が複数箇所集中しており、当時の上越地方の中心集落だったと推定されている。



この度の最遠隔地である斐太神社周辺に斐太遺跡が広がり、上杉謙信公の跡目争いに敗れた景虎の終焉の地である山城「鮫ヶ尾城」の登山口でもある。斐太神社に参拝し、一息入れて気温25度の日差しの中、従来のコースに比べ長距離となる帰路を、汗を拭き拭き出発地へ向けて歩ききり、無事帰着しました。

参加者の労を労い、担当役員が心を込めて作成した「完歩証」がスマートフォンの連絡網で配信され、参加者に喜ばれました。